

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	30-4
PDCA	主要事業名	小学校施設保全事業	部課名	教育部学校教育課	担当 内線	杉浦 517	
P	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 9 年度 全体事業費等： 2,688,803 千円						
	会計		一般会計		歳出科目： 09.02.01.10.66		
	事業概要等	事業概要： 更新時期が10年以上先の小学校（10校）の短期的な保全工事を行い、学校環境を整える。					
		事業目的： 校舎等の屋根防水改修及び外壁改修等の予防保全工事を実施し、教育環境の維持保全を図る。					
		事業内容： 老朽化した建物、設備及び付帯施設の実施設計及び大規模な改修工事等					
		問題点・校舎・体育館及び校内施設は、老朽化しているため、改修・修繕が必要と課題等： なっている。					
	予算額	主要事業とする理由					
	446,716 千円	更新時期が10年以上先となる学校の短期的な保全工事を行うことで、校舎の安全を確保し、教育環境を整備する必要があるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 446,716 千円	適切な学校運営のため、施設の更新までに必要な保全工事を実施することで、生徒の安全確保と教育環境の改善が図られる。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
	県費 0 千円	保全工事進捗率	実績値	—	—	—	%
	目標値		—	—	20.0	%	
	その他 0 千円		実績値				
			目標値				
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	414,568 千円	予防保全工事の実施設計及び校舎等防水改修工事を実施し、教育環境の維持保全につなげることができた。					
	成果指標			令和5年度	単位		
	保全工事進捗率	実績値	25.0	%			
		目標値	20.0	%			
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 劣化の程度、改修内容を判断するための実施設計を行うとともに、校舎等防水改修工事を実施した。なお、実施設計のための施設点検に加え、各学校にヒアリングを行い、各学校の要望にも柔軟に対応することができた。					
	A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 安全・安心な学校生活を維持するため、危険個所の把握を急ぎ、必要な改修を着実に進める。				
観点別評価		必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない					

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

予算見積書で活用